



## 税金について理解を深める



12月15日、大笠中学校3年生20人を対象として、市役所税務課職員を講師に招いた租税教室が行われました。税金がない世界を描いたDVDの視聴や、税金クイズなどで税金の意義や役割について学びました。前野空翔さんは、「税金があることで世の中が成り立っており、互いに支え合っていることを知った。これから自分も税金をしっかりと納められるよう頑張りたい」と話しました。

## 鳳凰高校が熱戦 女子サッカー



1月7日～9日の3日間、第19回西日本女子サッカーフェスティバル in 南さつまが開催され、九州内の高校やクラブ8チームが力強いプレーを披露しました。本大会の参加者は中学生から社会人まで幅広く、中・高校生にとっては貴重な経験が出来る有意義な大会となりました。  
優勝：Dream Spread FC 宮崎（宮崎県）  
準優勝：レイク川内レディースサッカークラブ（薩摩川内市）  
第三位：鹿児島女子高等学校（鹿児島市）

## 親子で参加 料理教室



12月27日、料理を通じて食の大切さを学んでもらおうと冬休み親子料理教室（Aコープサザウィン店主催）が開催され、市内外から小学生親子12組39人が牛モモ肉を使ったローストビーフ作りに挑戦しました。加世田小学校4年の中原芽衣さんは、「難しかったけど、楽しかった。帰ってから食べるのが楽しみ」と話しました。

また、待ち時間には肉の種類や特徴などの説明もあり、子どもたちは熱心に聞いていました。

## 人権意識の高揚に尽力 感謝状



1月11日、「全国中学生人権作文コンテスト」への今までの応募・受賞実績に基づき、法務省人権擁護局および全国人権擁護委員連合会から加世田中学校へ感謝状が贈呈されました。加世田中学校は中学生の人権意識の高揚のため尽力しており、竹崎賢一校長は、「これからも、子どもたちが人権と多様性の尊重について考える機会を、人権作文コンテスト等を通して作りたい」と話しました。